

## 第24回国内遺跡旅行

### 岐阜県南西部 西濃の古墳時代の始まり

#### ―昼飯大塚古墳とその周辺の遺跡を巡る―

日程：令和6年5月25日(土) 参加者数：81名  
コース：京都駅8時集合→象鼻山古墳群→大垣市歴史民俗資料館・美濃国分寺跡  
→東町田墳墓群→上磯古墳群→道の駅パレットピア大野→昼飯大塚古墳  
→大垣駅→京都駅19時半解散  
現地案内 講師：中井 正幸 (岐阜聖徳学園大学特別研究員・非常勤講師)  
講師：吉村 和昭 (榎原考古学研究所附属博物館 学芸課長)

#### 【感想文】

#### 岐阜県南西部 西濃の古墳時代の始まり―昼飯大塚古墳とその周辺の遺跡を訪ねる―

京都駅を8時30分に2台のバスで出発。一回の途中休憩を挟んで、最初の象鼻山古墳群に到着。上り坂をゆっくりと登山して、頂上付近に到着。そこでさっそく中井正幸先生から、資料に基づきこの辺りの西濃全体の詳しい説明を受けた。弥生時代の終末期から、古墳時代の終わりごろまで、約400年余りにわたって数多くの古墳がこの地に造られた。ここからは、大垣はもちろん、遠く名古屋や伊勢湾の方面も眺め渡すことが出来た。

次に大垣市歴史民俗資料館を訪問。同時に昼食休憩を取る。近隣の古墳から出土した、数々の土器や埴輪などが展示されていた。更に東町田墳墓群に向かう。ここでは弥生中期の方形周溝墓と環濠、弥生終末期の墳墓群を見学した。次に上磯古墳群に移動する。前方後方墳の北山古墳、南山古墳、前方後円墳の亀山古墳を見学する。前方後方墳の笹山古墳については、発掘調査はされているが消滅している。次に道の駅パレットピア大野で休憩を取る。最後に大型の前方後円墳である昼飯大塚古墳を見学する。綺麗に復元整備されており、墳墓の形がよくわかる。いただいた詳しい説明資料を見ながら、更に再現された葺石や埴輪の列を観て、当時のありさまを思い描くことが出来た。

今回の遺跡旅行で、岐阜県南西部の西濃をおとずれて、その地理的位置と古墳時代を思い描き実感することが出来た。

最後になりましたが、今回お世話になりました中井正幸先生と吉村和昭先生に感謝いたします。ありがとうございました。

大阪市 重里育孝

【記録写真】

象鼻山古墳群 象鼻山付近のバス駐車場で中井先生のあいさつ



象鼻山入口 中央こちら向きが中井先生



象鼻山登り中



象鼻山古墳群 3号墳での中井先生の説明



象鼻山古墳群 1号墳後方部裾から見る西濃平野.



象鼻山古墳群 1号墳丘上から説明



象鼻山古墳群 2号墳の北平坦面、斜面



大垣市歴史民俗資料館



館内での中井先生の説明



美濃国分寺跡歴史公園



美濃国分寺跡での説明



東町田墳墓群 上2枚、下は遠方に眺めて通るところ



## 上磯古墳群



中井先生の説明 説明版の横、こちら向き

## 上磯古墳群 北山古墳



前方部



後方部



墳丘北側

上磯古墳群

亀山古墳

後円部→前方部



亀山古墳墳丘南側



昼飯大塚古墳



昼飯大塚古墳展示版



昼飯大塚古墳上



昼飯大塚古墳 後円部墳上から前方部への展望





昼飯大塚古墳 後円部墳上での中井先生(中央横向き)の説明



昼飯大塚古墳前集合写真



以上